

脱炭素先行地域 進捗状況報告票

提案者名	高岡市
共同提案者名	高岡市カーボンニュートラル推進協議会
対象年度	令和5年度

<総論>

1. 令和5年度における計画の変更箇所について

2. 今後の計画の変更可能性、今後の展開について

本市の取組は、令和6年度から本格実施する計画であることから、現時点で計画の変更は予定していない。
また余談であるが、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により、本市も大きな被害が出たところであるが、脱炭素先行地域の取組対象エリアにおいては大きな影響がなかったことから、今後の取組に対する影響は無い。ただし、市内他地域において地盤の液状化や、住宅等の建物に被害を受けるなど、被災した市民や事業者への復興が最優先としており、脱炭素の取組については、市民の感情に配慮し、被災状況や復興支援の進捗を注視しながら推進していく。

3. 評価委員からの講評（選定時、年度フォローアップ）に対する対応状況

選定時の評価委員からの講評に対する報告については、次の通りである。

1. 使用済太陽光発電設備のリサイクル

○ 具体的な取組内容（取扱量を含む）やスケジュール等を更に明確にする

使用済太陽光発電設備のリサイクルシステムについて、令和8年度までに統合的な仕組みを検討（※1）し、体制を構築、令和8～12年度に順次本格的に実施していく。

※1 近隣自治体から回収するスキームなどの時間を要する取組もあるため、リサイクルアルミの再利用など、実現可能な取組から順次実施する。

2035年 高岡市における使用済太陽光パネルの廃棄見込量⇒7,933kW = 太陽光パネル 約80,000枚 = 重量 約1,200 t

太陽光発電設備の設置について、令和6～7年度の太陽光発電設備設置にリサイクル建材の積極的活用に取り組み、令和8年度以降は検討を進めているリサイクルシステムに合致する資材の活用を推進する。

使用済太陽光発電設備リサイクル事業の事業化調査は令和6年度中に実施する予定。その中で、事業採算性確保のために必要な設備規模、使用済太陽光発電設備の収集量等を検討する。なお、技術的な問題はなく、事業実現に向けては、使用済太陽光発電設備の収集方法・ルート確立が課題であり、現在、協議会参画企業を中心として調整を進めており、令和7年度中には対外公表を目指す。

2. 中心市街地の需要家との合意形成

○ 取組方針やスケジュールを定める

基本的に、すべて実施事業について取組の方向性について合意済み。今後は、太陽光発電設備の設置や再生可能エネルギーの採用のほか、水素専焼発電など具体的な方法論について、合意を形成していく。

「具体的な取組方法の提示→それぞれのメリットやコストなどの説明→希望する取組方法の意向調査→それを踏まえた個別合意の取得→事業実施」のステップを1サイクルとし、この事業実施に向けたサイクルを何度も回すことで、太陽光発電設備設置などの事業実施割合を高めていく。

合意形成のサイクルを次のように実施する。

- ・住宅（戸建住宅134件・集合住宅172件）は、実施したアンケートに基づき、地域別等のグループに分けたうえで、それぞれのグループに対し年1回以上実施する。
- ・飲食店等（375件）は、店舗形態等に応じたグルーピングを行い、それぞれのグループに対し年1回実施する。
- ・業務その他（オフィスビル、商業施設、宿泊施設）は、個別に、サイクルを回すスケジュールを設定する。

3. 脱炭素ショールーム

○ 各施設・設備の内容について事業継続性を踏まえて再度検討する

○ 市民への脱炭素の普及啓発の方法について検討する

- ・「脱炭素ショールーム」は、特定設備の呼称ではなく、脱炭素先行地域エリア全体を指しており、御旅屋セリオはその中核と位置付けている。
- ・本事業の対象地域で、企業の参画を得て、新しい取組を追加・更新していくことで、普及啓発効果の維持を目指す。
- ・具体的には、対象地域の変化を伝えることが最も効果的と考える。このため、駅前エリアでの脱炭素事業の取組内容がわかるよう工夫する計画（展示物の設置等）を展開。「発電体験フィットネス」や「LED野菜工場」などで体験する仕組みで効果を高める。
- ・脱炭素と同時にサーキュラーエコノミーへの理解を深めるため、エリア内での資源回収ボックスの設置、福岡金属工業団地の見学会等、市民への意識啓発の取組を積極的に実施する。
- ・様々なイベント等と連携したり、自治会活動や学校行事のほか、他自治体中や企業の視察先に組み込む。

4. 高岡市カーボンニュートラル推進協議会

○ 参画企業のRE100に向けた検討する

- ・高岡市カーボンニュートラル推進協議会参画企業は、脱炭素に取り組む意思があるが、企業規模や業種が様々であることから、まずは参画企業へのヒアリングやアンケート等を通じた現状の把握を行い、そのうえで、それぞれの経営状況や業態に応じたRE100の進め方を令和6年度中に検討する。
- ・RE100の参加要件を満たさない場合（※）は、RE100に代わる認証制度を検討する。
- ・なお、参画企業のうち、北陸銀行、富山銀行、富山第一銀行、高岡信用金庫は、取引先等の脱炭素化支援を行っており、これら地域金融機関が持つ支援の仕組みやノウハウを積極的に活用する予定。

5. 中心市街地と福岡金属工業団地

○ 2つのエリアの脱炭素に関する取組の関連性について再度検討する

- ・中心市街地は人が集まる大きな消費地であり、そして、福岡金属工業団地は、市内のリサイクルの主要企業であるハリタ金属を中心に、金属加工などを手掛ける企業が立地しているエリアである。
- ・ハリタ金属（株）では、先行地域内外にて発生する廃太陽光パネル、廃蓄電池等をリサイクルできる体制がある。
- ・中心市街地と福岡金属工業団地がつながることで、高岡市が目指すサーキュラーエコノミーを構成する「消費→リサイクル→製品に再加工→不可価値を付与された製品→消費」という資源循環の輪を作り出す関係となる。
- ・中心市街地エリア内で発生した資源ゴミを、福岡金属工業団地において資源に再生することを目指している。資源を共同提案者である三協立山（株）が建材に再加工し、中心市街地で活用していく。
- ・太陽光パネルや、廃蓄電池、アルミをはじめとする金属製品のリサイクルによる再生は、将来的に高岡市にある10を超える工業団地を含む市全体で実現する。まずは、「先行地域（中心市街地及び福岡金属工業団地）の取組」を起点とし、他の市街地エリアや工業団地への横展開を目指すものである。
- ・さらに、伝統工芸品である銅のリサイクルも行っており、リサイクル技術と伝統産業の融合により、新しい製品として価値が生み出され、消費地である、中心市街地で活用することとしている。

<対象年度の事業費の額（各取組）、活用を想定している資金>

取組No	取組内容	導入量・台数	令和5年度の事業費(千円)	令和5年度に活用予定の資金金額(千円)					事業費に関わる費用効率性(円/t-CO2)
				交付金	補助金	地方債	一般財源	その他(金融機関や民間事業者からの資金等)	
※令和5年度中の取組(事業費)はありません									

<主なエリア図と進捗状況>

本市の取組は、令和6年度から本格実施する計画であることから、当初計画のエリア図を添付する。

エリア図貼付欄	導入場所・導入設備記入欄
<p><高岡駅前中心市街地エリア></p> 	※本年度の設置実績は無し
<p><福岡金属工業団地></p> 	※本年度の設置実績は無し

【対象年度までの「実質ゼロ」の達成率】

$$\left(\frac{0}{0} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div 16,631,046 \text{ (kWh/年)} = 0 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	134	568,856	0	0	0	0	0	0		
	その他	517	1,687,229	0	0	0	0	0	0		
民生・業務その他	オフィスビル	27	3,485,240	0	0	0	0	0	0		
	商業施設	3	6,406,878	0	0	0	0	0	0		
	宿泊施設	3	3,990,282	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0		
公共	公共施設	1	492,561	0	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計			(C) 16,631,046	0	0	0	(A) 0	(B) 0	0		

【対象年度における新規再エネ導入量 (kW)】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
0	0								0

【電力需要家との合意形成の状況について】

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	戸建住宅	134	D	
2	集合住宅	172	D	
3	飲食店	345	D	

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	富山銀行本部本店ビル	1	C	
2	オフィスビル (駅前エリア)	24	C	
3	福岡金属工業団地	13	C	
4	御旅屋セリオ	1	C	
5	ウィング・ウィング高岡	1	C	
6	ソラエ高岡	1	C	
7	ホテルニューオータニ高岡	1	C	
8	ホテルアルファ・ワン高岡	1	C	
9	ホテルアルファ・ワン高岡駅前	1	C	

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	中央駐車場	1	A	

< 民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現について >

【再エネに係るもの】

■取組①：オンサイトPPA

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程		調査 地元協議	地元協議 順次導入				順次導入			
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	3	6	6	6	6	0	0
		累計	0	0	3	9	15	21	27	27	27
状況	工程		調査 地元協議								
	実績 (単位:件)	単年度	0	0							
		累計	0	0							

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアの調査を実施。 戸建住宅・集合住宅・飲食店の代表者をはじめ、順次、先行地域に係る事業全体像について説明済みであり、取組の方向性について理解を得ている。 戸建住宅・集合住宅の住民に対しては、説明文書の配布とアンケートを実施。
------------	---

■取組②：オフサイトPPA

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程		調査 協議	地元協議 設備設計	地元協議 設備設置 供給		設備設置 供給		供給		
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	0	0	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0
		累計	0	0	0	1,000	2,000	3,000	4,000	4,000	4,000
状況	工程		調査 協議								
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0							
		累計	0	0							

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアの調査を実施。 予定地である「埋立処分場」及び「中田配水場」への設置を先行して取り組む。
------------	---

■取組③：卒FIT

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程		検討		検討 説明会開催			供給			
	目標値 (単位:Wh)	単年度	0	0	0	0	0	0	3,103M	0	0
		累計	0	0	0	0	0	0	3,103M	3,103M	3,103M
状況	工程		検討								
	実績 (単位:Wh)	単年度	0	0							
		累計	0	0							

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、卒FITの見込調査を実施。
------------	--------------------------------

【省エネに係るもの】

■取組④：省エネ改修・ZEB化

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程		調査 協議	調査 協議 順次実施							
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	0	1	0	0	2	0	0
		累計	0	0	0	1	1	1	3	3	3
状況	工程		調査 協議								
	実績 (単位:件)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果 (単位:t-CO2)	実績 累計	0	0								

令和5年度の取組概況	ホテルニューオータニ高岡と先行的な協議を実施し、ZEB化調査中。脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアの調査を実施。
------------	---

■取組⑤：地中熱ヒートポンプ

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程		調査 協議		設備設置		順次設置 供給				
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	0	0	1	0	0	1	1
		累計	0	0	0	0	1	1	1	2	3
状況	工程		調査 協議								
	実績 (単位:件)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	ノウハウを有する事業者が高岡市カーボンニュートラル推進協議会に参画。脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアの調査を実施。
------------	---

< 民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の取組 >

■取組⑥：EVカーシェアリング

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査	協議 設置	運用開始	運用				
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	1	0	0	0	0	0
		累計	0	0	1	1	1	1	1	1
状況	工程		調査							
	実績 (単位:件)	単年度	0	0						
		累計	0	0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0						

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアでの事業の可能性を調査及び自動車メーカー等と協議。
------------	---

■取組⑦：EV導入・EV充電スタンド

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程		調査	協議 順次設置			運用				
	目標値 (単位:台)	単年度	0	0	1	1	1	1	1	0	0
		累計	0	0	1	2	3	4	5	5	5
状況	工程		調査								
	実績 (単位:台)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計									

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアでの設置候補地等について調査。
------------	---------------------------------------

■取組⑧：EVタクシー

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
計画	工程		調査	協議 事業化検討		運用開始	運用				
	目標値 (単位:台)	単年度	0	0	0	0	2	2	2		
		累計	0	0	0	0	2	4	6		
状況	工程		調査								
	実績 (単位:台)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアでの事業の可能性を調査。エリア内で運営する事業者の意向確認済。
------------	---

■取組⑨：資源リサイクル

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程			調査	協議 事業化検討	構築	順次運用開始				
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	0	1	0	0	1	0	0
		累計	0	0	0	1	1	1	2	2	2
状況	工程			調査							
	実績 (単位:件)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、事業内容について調査。高岡市カーボンニュートラル推進協議会及び関連団体との意見交換を実施。取組の方向性について合意。
------------	---

■取組⑩：地中熱利用

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程			調査		協議 設置	運用				
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		累計	0	0	0	0	0	1	1	1	1
状況	工程			調査							
	実績 (単位:件)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、該当エリアの調査を実施。
------------	-------------------------------

■取組⑪：伝統産業

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程			調査	順次取組						
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	1	1	1	1	1	1	2
		累計	0	0	1	2	3	4	5	6	8
状況	工程			調査							
	実績 (単位:件)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	先行して商品化した商品を活用した市民啓発を検討中。脱炭素先行地域の計画策定にあたり、事業内容について調査。資源循環の取組と連動して推進する。
------------	--

■取組⑫：環境拠点整備

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程			調査	設計	設置	順次公開				
	目標値 (単位:件)	単年度	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		累計	0	0	0	1	1	1	1	1	1
状況	工程			調査							
	実績 (単位:件)	単年度	0	0							
		累計	0	0							
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0							

令和5年度の取組概況	脱炭素先行地域の計画策定にあたり、取組の方向性を検討。
------------	-----------------------------

< 共通KPI >

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0円	0円	12,276千円	26,598千円	26,598千円	26,598千円	26,598千円	26,598千円	26,598千円
	累計	0円	0円	12,276千円	38,873千円	65,471千円	92,069千円	118,666千円	145,264千円	171,862千円
実績	単年度	0円	0円							
	累計	0円	0円							

< 個別KPI >

■指標①-1：新たに取り組む産学官資源循環モデル数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0件	0件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件
	累計	0件	0件	0件	1件	1件	1件	2件	2件	2件
実績	単年度	0件	0件							
	累計	0件	0件							

令和5年度の実績詳細	
------------	--

■指標①-2：サーキュラーエコノミー推進モデル数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0件	0件	1件	1件	2件	2件	2件		
	累計	0件	0件	1件	2件	4件	6件	8件		
実績	単年度	0件	0件							
	累計	0件	0件							

令和5年度の実績詳細	
------------	--

■指標②-1：主要観光施設における観光入込客数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		351,000人			375,500人				
	累計	-	-	-	-	375,500人	-	-	-	-
実績	単年度	241,687人	282,656人							
	累計	-	-	-	-	-	-	-	-	-

令和5年度の実績詳細	
------------	--

■指標②-2：中心商店街・観光地周辺(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		14,425人			15,000人				
	累計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実績	単年度	12,217人	12,845人							
	累計	-	-	-	-	-	-	-	-	-

令和5年度の実績詳細	
------------	--

■指標③：脱炭素ショールーム参画企業数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	20社	2社	2社	4社	4社	4社	4社		
	累計	20社	22社	24社	28社	32社	36社	40社	40社	40社
実績	単年度	20社	3社							
	累計	20社	23社							

令和5年度の実績詳細	
------------	--

<事業実施体制>

事業	事業者名	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との協議等)	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
PPA事業	サニーライブホールディングス、北陸電力	2022年高岡市カーボンニュートラル懇談会(現:推進協議会)に参画し、高岡市カーボンニュートラル推進ロードマップを作成。また脱炭素先行地域第1回・第3回・第4回申請について参画。共同提案者として先行地域のエリアや取組内容について協議している。	取組内容については合意済であることから、脱炭素先行地域の採択の結果に関わらず、高岡市のカーボンニュートラル推進ロードマップに合わせて取組を推進していく。 特にオンサイトPPAでは、搭載可能な建築物を優先して事業を進めつつ、建築物の建て替えや補修工事等のタイミングに合わせ、オーナーや住民と話をして導入を推進していく。また軽量化されたパネルの設置も検討する。高齢者には相対契約などの別の選択肢も提案していく。また、オフサイトPPAでは太陽光発電設備の設置順序や時期、需要家との契約時期などを協議で詰め、PPA事業者・需要家双方にとって最善になるよう進めていく。	
再エネ発電事業	高岡地区広域圏事務組合(高岡広域エコ・クリーンセンター)	2023年9月、高岡地区広域圏事務組合と構成3市において非FIT分の各市への融通についての協議を開催。融通することについて合意した。	構成3市への電力の分配率や、それを担う事業者等について協議を行う。	
小売電気事業 (地域新電力)	北陸電力	2022年高岡市カーボンニュートラル懇談会(現:推進協議会)に参画し、高岡市カーボンニュートラル推進ロードマップを作成。また脱炭素先行地域第1回・第3回・第4回申請について参画。共同提案者として先行地域のエリアや取組内容について協議している。	取組内容については合意済であることから、脱炭素先行地域の採択の結果に関わらず、高岡市のカーボンニュートラル推進ロードマップに合わせて取組を推進していく。 電力メニュー(卒FIT)提供については、卒FITを迎える顧客に対し、太陽光パネルの利用を維持し、卒FIT後の電力の買取契約を新たに契約していただけるよう積極的に働きかけることで、高岡市全体の再エネによる発電量の確保に努めていく。	
送配電事業	北陸電力送配電	北陸電力株式会社(共同提案者)のグループ企業として2022年高岡市カーボンニュートラル懇談会(現:推進協議会)以降の協議内容を、北陸電力株式会社を通じ共有してきた。電力の送配電(インフラ)について協議し、アドバイスをいただいているところ。	脱炭素先行地域に採択されるかどうか(補助金)の有無によって、発電設備を含む事業の取り組みの実施時期やスピード感が変わってくるため、計画の作成と進め方については、高岡市、電力供給事業者とも協議をしていく。	
金融機関	北陸銀行、富山銀行、富山第一銀行	2022年度までは、高岡市カーボンニュートラル懇談会での情報を共有してきた。2023年度から高岡市カーボンニュートラル推進協議会に参画。脱炭素先行地域第4回申請について、共同提案者として先行地域のエリアや取組内容について協力して計画・作成している。	取組内容については合意済であることから、脱炭素先行地域の採択の結果に関わらず、高岡市のカーボンニュートラル推進ロードマップに合わせて取組を推進していく。推進にあたっては、市民及び地元企業へ向けて地域金融機関としての視点から、意見・アイデア・アドバイス等を提言するとともに、住民説明会に参画し、住民の声を支援に反映させ、取組への支援を行っていく。	
地元企業等	ハリタ金属、三協立山 など	2022年高岡市カーボンニュートラル懇談会(現:推進協議会)に参画し、高岡市カーボンニュートラル推進ロードマップを作成。また脱炭素先行地域第1回・第3回・第4回申請について参画。共同提案者として先行地域のエリアや取組内容について協議している。	取組内容については合意済であることから、脱炭素先行地域の採択の結果に関わらず、高岡市のカーボンニュートラル推進ロードマップに合わせて取組を推進していく。 アルミのサーキュラーエコノミーモデルにおいて、現在域外へ流出していくアルミ資材に対すし、域内循環への転換していく必要があることから、アルミに限らず、域外に流出する資源の量を減らし、域内で循環させることで脱炭素につなげる仕組みづくりや事業者間のつながりや意識の改革を進めていく。	

<進捗管理の実施体制>

進捗管理に係る会議体等の名称	取組内容	実施状況(会議開催頻度、主な意見、懸念事項等)
高岡市と高岡市カーボンニュートラル推進協議会との意見交換会	脱炭素先行地域申請内容についての検討及び報告	開催頻度: R5年度4回開催 主な意見: 脱炭素先行地域申請に対する意見⇒申請様式に反映協議会に富山大学、日東が参画

< 地方公共団体実行計画の策定又は改定状況 >

取組内容	改正温対法に基づく地方公共団体実行計画の策定又は改定状況等			
事務事業編	改定済(〇年〇月)	改定中(〇年〇月策定予定)	○	改定予定なし
	改定予定なしの理由： 令和5年3月に策定したものであり、経過期間が短いため			
区域施策編	改定済(〇年〇月)	改定中(〇年〇月策定予定)	○	改定予定なし
	改定予定なしの理由： 令和5年3月に策定したものであり、経過期間が短いこと及びすでに脱炭素先行地域の取組を見込んだ計画となっているため			
促進区域の設定	設定済(〇年〇月)	検討中(〇年〇月設定予定)	○	設定予定なし

(以下に詳細を記載してください。)

【事務事業編】

計画期間	2023年(令和5年)～2030年(令和12年)
削減目標	▲60%以上
取組概要	電灯・OA機器の節電、両面コピー・再生紙の利用拡大、冷暖房温度管理の徹底、公用車のアイドリングストップ運動等環境に配慮した取り組みを全庁的に実施し、温室効果ガスの排出削減に努めている。

対象	目標値
温室効果ガス総排出量	
太陽光発電設備を設置	
公共施設の省エネルギー対策の徹底	
公用車の電動車の導入	
LED照明の導入	
再エネ電力調達の推進	

【区域施策編】

計画期間	2023年(令和5年)～2030年(令和12年)
削減目標	▲51.6%
取組概要	市域におけるCO ₂ 排出量について、(基本方針Ⅰ)「徹底的な省エネルギーの推進」を実現しつつ、(基本方針Ⅱ)「再生可能エネルギー創出と利活用促進」を行う。同時に、これらを経済の好循環につなげていくため、(基本方針Ⅲ)「エネルギー分野等の産業育成・地域ビジネスの創出」を図る。

施策分類	目標値
再エネの導入促進	
事業者・住民の省エネその他の排出抑制促進	